

2014年10月15日(水)

ちよだプラットフォームスクウェア 503 会議室

- ◆ 議長(副委員長): 金子純代 事務局: 熊谷一樹 加藤文弥
書記: 室橋紅里子 中山遼平
- ◆ 出席者(順不同): 伊藝徳雄 石黒建太郎 村井梨恵 平井淳一 市川航平
- ◆ 19:30 開会 / 21:05 閉会

【審議事項】

- ◆ NYIC インビテーションナルカップ 2015
 - ・ JSAF 代表チームの公募に対して、サマーガールチーム 1 チームからエントリーがあった。
 - ・ 大会エントリーが始まっており、J S A F 代表チームを確定する必要があり審査をした結果、満場一致でサマーガールチームを代表チームとして決定した。

【協議事項】

- ◆ 大学対抗&U25 マッチレース
 - ・ JYMA 会長の伊藝さんより概要の説明、及び懸案事項について協議した。
 - ・ 昨年まで田代さんが担当していた実行委員長は、今回は JYMA 理事の佐藤麻衣子さんが担当する事となった。
 - ・ 開催場所である日産マリーナ東海の担当者とも協議を始め、来年も従来通りの支援を受けられることになった。
 - ・ 11月開催の全日本インカレ(於:博多)にて、PR 予定。
 - ・ 当委員会及び三崎マリン所属の J/24 チームの方々の協力があつて、この大会も第4回を迎えることができ、レース開催はもちろん特にクリニックの開催に関して、皆様のご協力に大変感謝しています。
 - ・ この大会が蒔いた種は確実に芽が出てきていると思われ、これからもご協力をお願いします。
 - ・ 過去大会の収支を精査し、年内から1月早々には予算を出し、平行してご協賛頂けるキールボートオーナーを募集していく。
 - ・ 大会タイトルを大学対抗&U25 とし、大学の枠にとられない選手にも参加資格を広げ、より広い層からのエントリーを可能とした。
 - ・ 従来通り、インカレ上位校にインビテーションは出すが、参加枠 12 チームの内訳は未定。

- 大学のヨットサークルにもインフォメーションを出すのはどうか。どちらかというところ、サークル所属の大学生はこの大会には縁がないように感じているところもあると思われるので、個別に対応するほうがいいかもしれない。
- 過去の大会の参加者で、現在はキールボートやマッチレースで活動しているセイラーに大会やクリニックの実行委員会に加わってもらいと、様々な視点からの大会運営ができるのではないかな。

☆ 参加資格を U25 に広げたことでの参加選手について

- 初めてキールボートに乗る大学生と、現在マッチレースで実際に活躍している選手を同列にならべると大学生の大会に対するモチベーションが下がるのではないかな？
- これまで大会に参加した選手を見ると、優勝を目指したり思い出作りとして参加したりとモチベーションは異なり、一概には言えない。
- (実際にマッチレースで活動している選手からすると) U25 というのは、海外ではスタンダードであり、実際、一つでも多くの大会に参加し、ランキングをあげていきたいという希望もある。
- (上記とは別に) U25 に参加枠を広げることで、メンバー不足の悩みが減るのではないかな。
- 基本的な理念として、参加選手がこの大会を踏み台にキールボートの世界に羽ばたいてほしい。
- 例えば、選手のレベルに差が出るのが問題になるのであれば、学生マッチと通常のユースマッチを同時期に開催し、学生マッチ優勝チームがユースマッチに参加できるというのはいかがでしょうか。
- もしくは学生選手とユース選手がひとつのチームで組んでの参加を認めるのはどうか。
- 過去の大会の参加者に対して、本大会についてメールで告知している。ユースマッチとして別の大会を開催する案や他の JYMA 公式戦に組み込む案もあるが、運営スケジュールの問題が大きい。
- 本大会の趣旨としてマッチレースに主眼をおくか、キールボートの普及におくか、今後の課題になっていくのではないかな。
- 本部艇待機中の選手は、運営を手伝うという事前アナウンスをきちんとしたほうがいいのではないかな。
- 大会フォーマットの問題。最初からトーナメントあるいは予選グループを設ける案やレグをワンラップとする案、これらをステージごとに使い分ける案などもある。
- 蒲郡市など行政からの支援を受けられないかな。
- 地元の中部選抜枠を設ける事を検討している。
- 再来年に世界選手権が予定されている J/24 協会からも支援を受けられないかな。

☆ 随時皆様の意見を募集しています。

【報告事項】

- ・ 中日韓親善レガッタについて、9月のアジア大会期間中に各国担当者による会議を実施。今後可能な範囲で持ち回り開催する事を確認した。2015年の大会開催国として日本に打診があったため、早期に開催の有無について検討する。(連絡担当役・中山)
- ・ 来年1月に開催予定の外洋合同委員会(長崎)に当委員会から参加できる方を募集しています。伊藝さんに打診中。

◆ 次回委員会の開催日：未定、決定次第 web 公開及びメール配信します。